



山形県感染症発生動向調査

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)

TEL.023-627-1109, FAX023-641-7486

URL <http://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/>

平成28年第45週(11月7日~11月13日)

2016年11月15日 発行

<定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

※ :警報レベル

 :注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県)
	第44週	第44週	第45週	増減	第44週	第45週	増減	第44週	第45週	増減	第44週	第45週	増減	第44週	第45週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)		(48)			(20)			(5)			(10)			(13)			
インフルエンザ	2903 0.59	5 0.10	19 0.40	△	1 0.05	6 0.30	△	2 0.40		▼	1 0.10		▼	1 0.08	13 1.00	△	13977
小児科定点 (定点医療機関数)		(30)			(13)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	4213 1.33	98 3.27	92 3.07	▼	52 4.00	51 3.92	▼	7 2.33	4 1.33	▽	30 5.00	24 4.00	▼	9 1.13	13 1.63	▲	1363
咽頭結膜熱	766 0.24	3 0.10	9 0.30	△	2 0.15	7 0.54	△		1 0.33	△				1 0.13	1 0.13		666
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	5379 1.7	128 4.27	153 5.10	△	68 5.23	70 5.38	△				47 7.83	52 8.67	▲	13 1.63	31 3.88	△	6217
感染性胃腸炎	20253 6.41	158 5.27	237 7.90	▲	96 7.38	144 11.08	▲	23 7.67	14 4.67	▽	20 3.33	64 10.67	△	19 2.38	15 1.88	▽	7502
水痘	1053 0.33	24 0.80	16 0.53	▽	5 0.38	6 0.46	△				18 3.00	2 0.33	▽	1 0.13	8 1.00	▲	466
手足口病	2887 0.91	9 0.30	9 0.30		4 0.31	2 0.15	▼				1 0.17	4 0.67	△	4 0.50	3 0.38	▼	369
伝染性紅斑	321 0.1	4 0.13		▽	4 0.31		▽										1457
突発性発しん	1296 0.41	17 0.57	25 0.83	△	4 0.31	9 0.69	△	1 0.33	2 0.67	△	6 1.00	7 1.17	▲	6 0.75	7 0.88	△	867
百日咳	54 0.02																19
ヘルパンギーナ	780 0.25	23 0.77	18 0.60	▽	9 0.69	4 0.31	▽				5 0.83	7 1.17	▲	9 1.13	7 0.88	▽	2896
流行性耳下腺炎	3317 1.05	63 2.10	56 1.87	▽	20 1.54	22 1.69	▲	3 1.00	12 4.00	△	40 6.67	21 3.50	▽		1 0.13	△	2667
眼科定点 (定点医療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	5 0.01																1
流行性角結膜炎	469 0.68																61
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	8 0.02	1 0.10		▽	1 0.25		▽										20
クラミジア肺炎	3 0.01																4
マイコプラズマ肺炎	533 1.12	8 0.80	9 0.90	▲	5 1.25	6 1.50	▲		1 1.00	△				3 1.00	2 0.67	▽	134
細菌性髄膜炎	7 0.01																6
無菌性髄膜炎	19 0.04	1 0.10		▽										1 0.33		▽	13

<全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
結核	患者			2		
腸管出血性大腸菌感染症	患者				2	型別:O157 VT1VT2 3件。
	無症状病原体保有者				1	
梅毒	患者				1	
侵襲性肺炎球菌感染症	患者	1				※第44週追加報告分。肺炎球菌ワクチン接種歴無し。

<通信欄>

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

< 定点把握感染症 報告患者数 年齢別 >

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ		1	1	3	4	1		2				5			
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79	80歳～									合計
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	14	24	23	13	8	6	2	2							92
咽頭結膜熱		2	3		1	1	2								9
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	5	3	6	13	19	9	16	20	20	33	5	3	153
感染性胃腸炎	5	7	38	22	28	25	35	19	13	14	8	18		5	237
水痘				3	2	5	2		2		1	1			16
手足口病		5	3			1									9
伝染性紅斑															
突発性発しん		7	18												25
百日咳															
ヘルパンギーナ		5	4	2	3	3	1								18
流行性耳下腺炎			1	3	10	12	12	3	6	4	2	2		1	56

< 平成28年10月 月報 >

2016年11月15日 作成

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～10月	
	9月	10月	9月	10月	9月	10月	9月	10月	9月	10月		
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
性器クラミジア感染症	報告数	16	24	7	11	4	10	3	2	2	1	191
	定点当り	1.60	2.40	1.75	2.75	4.00	10.00	1.50	1.00	0.67	0.33	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	4	9	1	3	1	1	2	4		1	62
	定点当り	0.40	0.90	0.25	0.75	1.00	1.00	1.00	2.00		0.33	
尖圭コンジローマ	報告数	4	3	4	1				1		1	29
	定点当り	0.40	0.30	1.00	0.25				0.50		0.33	
淋菌感染症	報告数	4	4		1			2	1	2	2	22
	定点当り	0.40	0.40		0.25			1.00	0.50	0.67	0.67	
基幹定点 (定点医療機関数)	(9)		(4)		(1)		(2)		(2)			
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	1	2			2			1			53
	定点当り	0.10	0.22			2.00			0.33			
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	13	18	4	11	3	1	2	1	4	5	169
	定点当り	1.30	2.00	1.00	2.75	3.00	1.00	1.00	0.50	1.33	2.50	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数											
	定点当り											

< トピックス >

【インフルエンザ情報】

1 定点医療機関情報(第45週)

迅速診断キットによるインフルエンザウイルスの陽性件数

村山地区:A型 6件

庄内地区:A型 13件

2 インフルエンザウイルス分離状況(衛生研究所 11月9日現在)

今シーズン、県内では、AH1pdm2009型 2株、A香港型 2株が分離されています。

3 集団発生状況(健康福祉部健康福祉企画課まとめ 第45週)

村山地区:保育所 1件

庄内地区:小学校 1件

インフルエンザは、毎年、冬に流行し、私たちの健康に大きな影響を及ぼす代表的な呼吸器感染症です。感染力が強く、いったん流行が始まると短期間に多くの人へ感染が拡大します。

手洗いでインフルエンザを予防し、かかったら、マスク等咳エチケットを心がけましょう。

こまめな手洗いと
マスク着用を心がけ、
体調管理に努めましょう。
「かかったかな」と思ったら、
早めに医療機関を受診しましょう。



【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎情報】

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数が、置賜地区で8.7人となり、警報レベルとなっています。

【警報開始基準値:8人 警報終息基準値:4人】

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは

A群溶血性レンサ球菌による上気道の感染症です。

【症状】2～5日の潜伏期の後、突然の発熱(38℃以上)、咽頭発赤、毎舌(写真1)などの症状が現れます。通常、熱は3～5日以内に下がり、1週間以内に症状は改善します。治療は、抗菌剤が有効です。肺炎などの合併症を防ぐためにも、症状が改善しても医師に指示された期間、薬を飲むことが大切です。



写真1:典型的な毎舌
(国立感染症研究所ホームページより)

【感染経路と予防法】この病気は、患者の咳やくしゃみ等のしぶきに触れること等で感染しますので、一般的な予防対策(手洗いや咳エチケット等)が大切です。また、咽頭痛がある場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

